

自分を表現する力「自分から自分らしく自分の言葉で」
～みんなが安心して表現するための10のポイント～

(主体的、対話的な話し合いの10か条 國學院大學教授 杉田 洋 講演会 R6/7/16 より)

- ① 友だちの話^{はなし}を聞くときは、何を言^いいたいのかわかろうと最後までしっかり聞^きこよう。
→聞^きくとは、心^{こころ}をつなぐこと
- ② 言^いたいことを、みんなに聞^きこえる声^{こゑ}で、みんながわかるように伝^{つた}えよう。
→みんなに伝^{つた}わる声^{こゑ}や話^{はなし}し方を意識^{いしき}することは、思^{おも}いやりの第一^{だいいち}歩^ぽ
- ③ 感^{かん}じたこと、思^{おも}ったこと、考^{かんが}えたことを間^ま違^{ちが}っているかなと思^{おも}っても、そのま^ま話^{はなし}そ
う。
→主^{しゅ}張^{ちやう}するとは、自^じ分^{ぶん}自^じ身^{しん}を大^{だい}切^{せつ}にし、自^じ分^{ぶん}ら^らしく生^いきるこ^こと 自^じ分^{ぶん}自^じ身^{しん}を強^{つよ}くするこ^こと
- ④ わからない友^{とも}だちには、自^じ分^{ぶん}のわ^わか^かり方^{かた}を自^じ分^{ぶん}の言^ごば^ばで説^{せつ}明^{めい}しよ^う。
→説^{せつ}明^{めい}するとそれ^{それ}が自^じ分^{ぶん}の力^{ちから}に
- ⑤ 意^い見^{けん}と意^い見^{けん}をつな^つないで深^{ふか}く考^{かんが}えら^られるよ^ようにしよ^う。そし^して、わ^わか^から^らない時^{とき}は、わ^わ
か^かるま^まで何^{なん}度^どでも聞^きこよう。
→学^{まな}ぶとは、疑^ぎ問^{もん}に思^{おも}うこ^こと、それ^{それ}を問^とうこ^こと
- ⑥ 人^{ひと}の発^{はつ}言^{ごん}をば^ばか^かにし^したり、笑^{わら}ったり、ひ^ひや^やか^かし^したり、ス^スル^ルー^ーし^したり、無^む視^しし^したりする
こ^ことは絶^{ぜつ}対^{たい}にや^やめ^めよ^う。
→人^{にん}間^{げん}とし^{して}悲^{かな}しい。相^あ手^てを大^{だい}切^{せつ}にするこ^ことは人^{じん}権^{けん}尊^{そん}重^{ちゆう}の第一^{だいいち}歩^ぽ
- ⑦ 友^{とも}だちの話^{はなし}をよ^よく受^うけ止^とめてから、自^じ分^{ぶん}の考^{かんが}えを整^{せい}理^りし^したり、ま^まと^とめ^めたりしよ^う。
→し^しっ^っか^かり^りと受^うけ止^とめるこ^ことは深^{ふか}く考^{かんが}えるこ^こと。話^{はなし}合^あい^いの基^き本^{ほん}は聴^きき合^あい
- ⑧ 話^{はなし}して^{して}い^いる人^{ひと}が誰^{たれ}かでは^{では}なく、話^{はなし}の^の中^{なかつ}身^みをよ^よく聞^きいて、考^{かんが}え、判^{はん}断^{だん}しよ^う。
→話^{はなし}す中^{なかつ}身^みを参^{さん}考^{こう}にし、生^いか^かすと、よ^よい考^{かんが}えや判^{はん}断^{だん}、結^{けつ}論^{ろん}に
- ⑨ 自^じ分^{ぶん}の考^{かんが}えに固^こ執^{しつ}し^したり、無^む理^り失^{しつ}理^り押^おし^し通^とそうとし^したりし^しないよ^ようにしよ^う。
→わ^わか^かり合^あい^いや共^{きよう}感^{かん}、折^{せつ}り合^あい^いは、共^きに生^いきてい^いく人^{にん}間^{げん}関^{かん}係^{けい}づ^づくりの第一^{だいいち}歩^ぽ
- ⑩ 違^{ちが}う考^{かんが}え、異^いな^なる意^い見^{けん}を^をで^でき^きる^るだ^だけ大^{だい}切^{せつ}にしよ^う。
→違^{ちが}いや多^た様^{よう}性^{せい}を大^{だい}事^じにするか^からこ^こそ、新^{あたら}しい考^{かんが}えが^が生^あま^まれる！
→い^いじ^じめ^めの未^み然^{ぜん}防^{ぼう}止^しは、違^{ちが}いを排^{はい}除^{じょ}し^しないこ^ことから始^はまる！